

中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場の延命化に寄与

不燃ごみの全量資源化を本格実施

持続可能な資源循環型地域社会の実現に取り組みます

事業の拡充

事業経費

1億1,684万円

◆事業内容

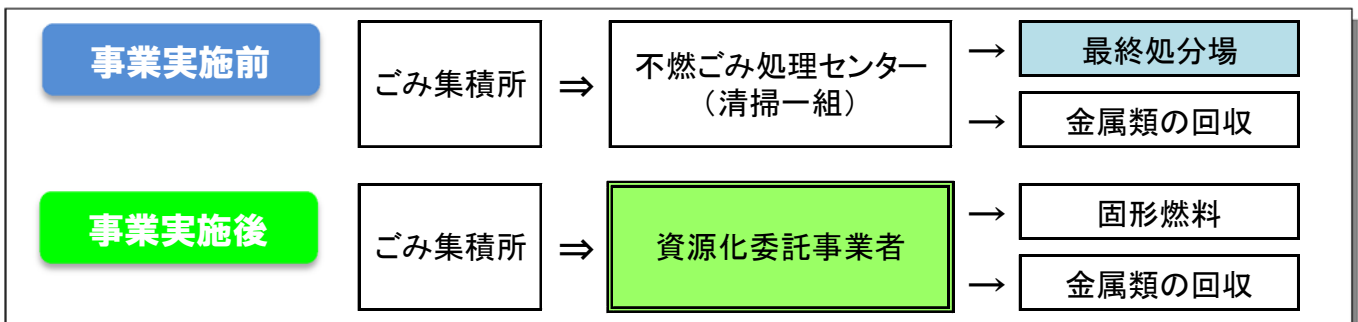
区が集積所から収集した不燃ごみのうち、鉄・アルミ等の金属は素材として回収し、金属以外(ガラス・陶磁器等)については固形燃料製造に用い、全てを資源化(※)します。

※ 蛍光灯・乾電池やスプレー缶・ライター等の廃棄物は、別ルートで資源化

◆背景・目的

- 本区地先にあるごみの最終処分場(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場)は、東京港最後の埋立処分場であり、今後、新たな埋立処分場の確保は極めて困難です。現在の処分場をより長く大切に使うことは、江東区民のみならず東京が抱える大きな課題です。
- 平成27年度から3年間、収集した不燃ごみの全量資源化を試行実施しました。
- 持続可能な資源循環型地域社会の形成に向け、ごみ減量の取り組みやごみの適正処理についての理解を引き続き促進していくとともに、埋立処分場の延命化に寄与し、同時に資源化率の向上を図ります。

◆不燃ごみの主な流れ



◆不燃ごみ収集量の推移

平成26年度	3,332t
平成27年度	3,143t
平成28年度	2,826t

◆他区の状況

全量資源化は、本区のみ



中央防波堤埋立地・新海面処分場

長期計画の該当項目：施策4 循環型社会の形成

担当課：清掃リサイクル課
窓 口：防災センター6階4番

電話：3647-9181
内線：6341

水銀灯からLEDへ！明るく安全・安心なまちづくり
街路灯、公園・児童遊園灯及び散歩道灯をLED化
 省エネルギー化により二酸化炭素・光熱費を大幅削減

新たな取組み

	事業名	30年度	総事業費
事業 経費	街路灯改修事業	5億6,542万円	45億9,829万円
	公園灯等改修事業	1億5,457万円	12億5,650万円
	水辺・潮風の散歩道灯改修事業	2,737万円	5億2,905万円

◆事業内容

街路灯・橋梁灯、公園・児童遊園及び遊び場、水辺・潮風の散歩道に設置してある水銀灯を平成30～37年度の8年間でLED灯へ改修します。

◆背景・目的

- 水銀に関する水俣条約(※)により、水銀灯が平成32年末以降、製造中止となることから、水銀灯の入手が不可能となり、不点灯箇所が発生する恐れがあります。
- LED化により、従来の約3分の1のエネルギーで同程度の照度が確保できるとともに、電気料金・二酸化炭素の大幅な削減を図ることができます。

※ 水銀および水銀を使用した製品の製造と輸出入を規制する国際条約

◆LED化計画の概要

	平成30年度	平成31～37年度	計
街路灯・橋梁灯	710基	4,970基	5,680基
公園など	150基	1,050基	1,200基
水辺・潮風の散歩道	100基	700基	800基



街路灯



公園灯



散歩道灯

長期計画の該当項目：施策3-1 便利で快適な道路・交通網の整備 等

担当課：施設保全課

電話：3642-5027

都市公園法改正により創設されたPark-PFIの活用を想定
PPPによる若洲公園の整備・管理運営手法を検討
 若洲公園の整備管理運営方針を策定

新たな取組み

事業経費

2,250万円

◆事業内容

老朽化した区立若洲公園(※1)の整備及び管理運営にあたり、都市公園法改正により創設された公募設置管理制度(Park-PFI)(※2)等を活用した手法を検討します。

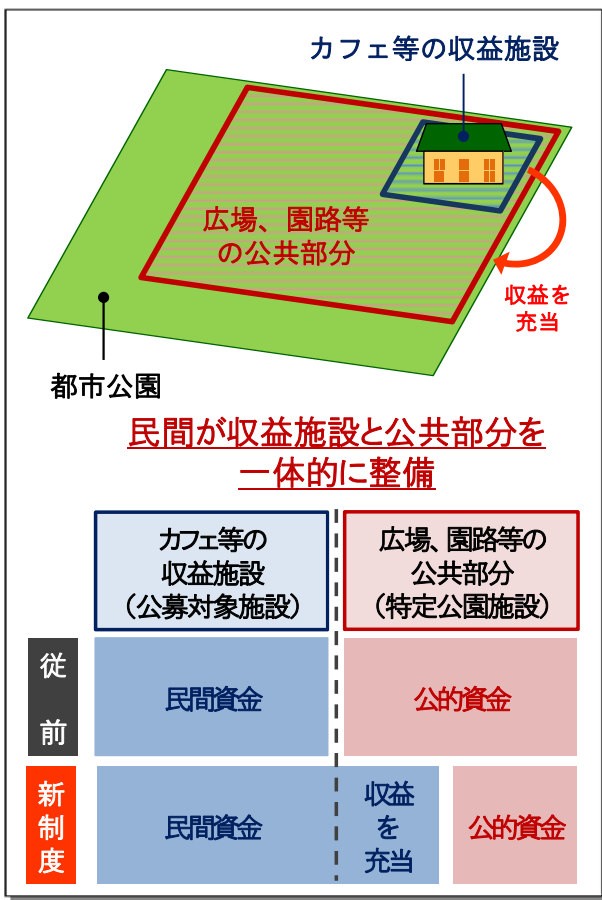
※1 区立若洲公園:平成18年に東京都港湾局より移管。風力発電施設が設置されている多目的広場やキャンプ場、サイクルセンターなどがある約9.3haの公園

※2 公募設置管理制度:飲食店等の施設を設置・管理する民間事業者を公募により選定する制度。事業者が設置した施設から得られる収益を公園整備に充当することを条件に建ぺい率の緩和等、特例措置の適用が可能

◆目的・効果

若洲公園の整備及び管理運営に、民間活力を導入することにより、民間のノウハウを活用した公園の魅力向上と財政負担の軽減を図ります。

◆公募設置管理制度 (Park-PFI)



◆想定スケジュール

年度	30	31	32	33~
調査委託	■			
整備管理運営方針策定		■		
事業者公募(準備含む)			■	
区整備部分設計委託			■	
区整備部分工事				■
民間事業者整備管理運営				■



長期計画の該当項目：施策1 水辺と緑のネットワークづくり

担当課：河川公園課
 窓口：防災センター6階2番

電話：3647-9426
 内線：6465